

25歳。時代を駆け抜けた。



異端の奇才 ビアズリー展

Beardsley, a Singular Prodigy 2025.2.15(土) - 5.11(日)

三菱一号館美術館



A V&A Exhibition - touring the world



25歳で世を去った画家オーブリー・ビアズリー。この英国の異才は、ろうそくの光をたよりに、精緻な線描や大胆な白と黒の色面からなる、きわめて洗練された作品を描きつづけました。本展覧会は、19世紀末の欧米を騒然とさせたビアズリーの歩みをたどる、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (V&A) との共同企画です。出世作のマロリー著『アーサー王の死』(1893-94) や日本でもよく知られるワイルド著『サロメ』(1894)、後期の傑作ゴージェイ著『モーパン嬢』(1897)をはじめとする、初期から晩年までの挿絵や希少な直筆の素描にくわえて、彩色されたポスターや同時代の装飾など、約220点を通じてビアズリーの芸術を展覧します。

Aubrey Beardsley (1872-1898), worked by candlelight, illustrating highly refined images with exquisite lines and bold black-and-white compositions until his death at the age of 25. In collaboration with the Victoria and Albert Museum (V&A), this exhibition traces the English prodigy's path as he created an uproar in Victorian society toward the end of the nineteenth century. Approximately 220 works are featured, including drawings from throughout Beardsley's artistic career such as his breakthrough works depicting Thomas Malory's *Le Morte d'Arthur* (1893-94), his well-known pictures of Oscar Wilde's *Salome* (1894), and his later masterpieces related to Théophile Gautier's *Mademoiselle de Maupin* (1898), as well as rare designs, colour posters, and decorative works of the time.



フレデリック・エヴァンス《オーブリー・ビアズリーの肖像——横顔》1894年頃、フォトグラヴェール、12.2×9.9cm
 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館所蔵
 Photo: Victoria and Albert Museum, London

オーブリー・ビアズリー

1872年、ブライトンで誕生。16歳でロンドンに出、保険会社で働くかわら、独学で絵を描きつづけた。ワイルド著『サロメ』(1894)の挿絵で成功するが、1895年にワイルドの同性愛裁判が起こると、その余波で仕事を失う。ゴージェイ著『モーパン嬢』(1898)の挿絵などで新境地を見せるが、持病の結核が悪化し、1898年に25歳で世界。



1



2



3

- 1:《愛の鏡》1895年、グラファイト、ペン、インク、水彩/紙、27.4×17.7cm
- 2:《孔雀の裳裾》1893年(原画)、1907年(印刷)、ライン・ブロック/ジャパニーズ・ヴェラム [厚地和紙]、34.4×27.2cm
- 3:《アーサー王は、唸る怪獣に出会う》1893年、ペン、インク、ウォッシュ/紙、37.8×27.0cm(画寸)、39.8×28.6cm(紙寸)
- 4:《[キーンズ叢書]の宣伝ポスター》1893年(原画)、1966年(復刊)、リトグラフ(多色)、47.9×34.4cm
- 5:《アヴェニュー劇場公演の宣伝ポスター》1894年、リトグラフ(多色)、74.9×51.9cm

1~5: オーブリー・ビアズリーの作品
 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
 All Photos: Victoria and Albert Museum, London



4

みどころ 1

生きざま含めて全部見せます! ビアズリーの大回顧展!

彗星の如くあられ時代の寵児に。早すぎる転落から最晩年の進化まで、凝縮された画業をご覧あれ。

みどころ 2

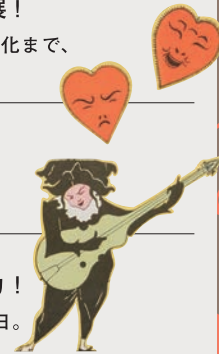
ビアズリーの初期から晩年の作品まで網羅!

約220点が一堂に。直筆は約50点!

みどころ 3

ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (V&A) 全面協力!

世界有数のビアズリーコレクションを有するV&Aから150点が一堂来日。



5

異端の奇才 — ビアズリー Beardsley, a Singular Prodigy

会期 2025.2.15(土) - 5.11(日)

開館時間 10:00 - 18:00

祝日を除く金曜日と会期最終週平日、第2水曜日、4/5は20時まで入館は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日

但し、[トークフリーデー: 2/24、3/31、4/28]、5/5は開館

観覧料 一般: 2,300円 大学生: 1,300円 高校生: 1,000円

※価格はすべて税込 ※障害者手帳をお持ちの方は半額、付添の方1名まで無料

〈オンライン販売〉

・前売一般: 2,100円 大学生: 1,000円

~2月14日まで販売。販売開始日はWEBサイトでお知らせします。

・平日限定チケット: 1,900円 利用可能日: 2/18(火)~3/14(金)の平日

・ビアズリー偏愛パス: 5,000円 1名様のみ、会期中何度でもご利用可能。

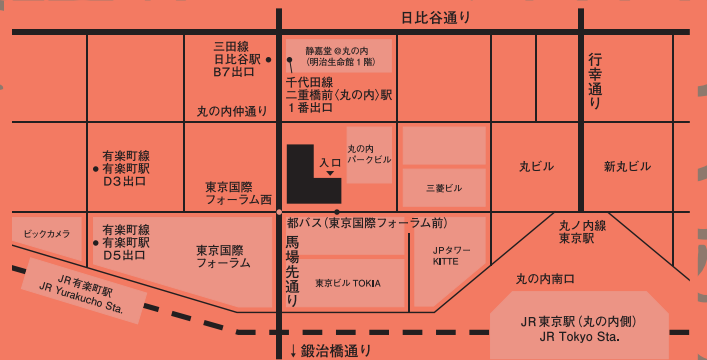
〈チケット窓口〉

・毎月第2水曜日「マジックアワーチケット」: 1,600円

当日の17時以降に当館チケット窓口でのみ販売します。

併せて小企画展「江戸から東京へ(仮称)」もご覧になれます。

詳細は<https://mimt.jp/small-gallery/>をご確認ください。



ACCESS

・JR東京駅(丸の内南口) 徒歩5分 ・JR「有楽町」駅(国際フォーラム口) 徒歩6分 ・東京メトロ千代田線「二重橋前(丸の内)」駅(1番出口) 徒歩3分 ・東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5出口) 徒歩6分 ・都営三田線「日比谷」駅(B7出口) 徒歩3分 ・東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下道直結) 徒歩6分
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-6-2 お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

三菱一号館美術館
 MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

主催: 三菱一号館美術館、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、朝日新聞社
 後援: プリティッシュ・カウンシル 協賛: DNP大日本印刷 協力: 日本航空

表面: オーブリー・ビアズリー「クライマックス」1893年(原画)、ライン・ブロック/ジャパニーズ・ヴェラム [厚地和紙]、
 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 Photo: Victoria and Albert Museum, London

